



中学生の皆さんは、「将来の自分」を想像したことがありますか。

皆さんは、将来の自分のため、夢を叶えるために、毎日、勉強や部活などをがんばっていると思います。

では、「未来の地球」を想像したことはありますか。

皆さんが大人になった頃、おじいちゃんやおばあちゃんになった頃、今と同じように、暮らしやすい地球環境になっているでしょうか。

今、世界では「SDGs(Sustainable Development Goals)=持続可能な開発目標」を達成するために、さまざまな取り組みが進んでいます。

SDGs は、17 の目標・169 のターゲットから成り立ち、「世界中の誰一人取り残さない」ことを誓ったもので、二宮町の中学生も含め、世界中の誰もがこの目標達成に向けて、取り組みを進めていくことが求められています。

例えば、目標 12「つくる責任 つかう責任」があり、中学生の皆さんなら、生活していく中で「つかう責任」を意識しながら、行動していくことが求められています。

なぜなら、私たち消費者が大量消費・大量廃棄を繰り返してきたことで、「ごみの問題、天然資源の問題、経済的な問題、**地球温暖化の問題**」など、様々なことが深刻な問題となっており、これをクリアしていかないと、持続可能な社会が形成されなくなってしまうからです。

また、**地球温暖化の問題**については、目標 13「気候変動に具体的な対策を」に密接にかかわるもので、持続可能な地球環境の形成が危ぶまれています。

地球温暖化の原因は、産業革命以降の人間活動を起因とした温室効果ガスの排出にあると言われています。[※温室効果ガスの主なガスは二酸化炭素(CO₂)です]

私たちの生活に欠かせない**電気**を使う時、キッチンの**ガス**や車の**ガソリン**を使う時、あるいは、**ごみを焼却する時**など、私たち人間は、生活する中でたくさんの CO₂ を排出しており、その排出量が増えることで、温暖化が加速します。

そのため、私たちは、**むだにエネルギーを使わないこと、できるだけエネルギーにたよりすぎない生活**をすることをしていかなければなりません。

「こまめな電気の ON・OFF」「シャワーを出しっぱなしにしない」「できるだけごみを出さない」などは当たり前の行動として、日頃の生活の中でどんな「CO₂削減行動」を思い付き、実践しますか。皆さんの行動の積み重ねが、豊かな未来をつくれます！

地球上に住む人々と一緒に、私たちにできることを今。

がんばって！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



地球のために
何ができるかな？

